

第 1 3 回 吉野町地域交通協議会
議 事 録

日時： 平成 2 4 年 6 月 2 0 日
(水) 1 0 : 0 0 ~

場所： 吉野町中央公民館第 3 ・ 4 研修室

出席者：

所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官	濱田 栄治	
奈良県土木部道路・交通環境課 主査	前川 昌宏	
吉野町区長連合会 会長	亀田 宏	
吉野町区長連合会 副会長	岸本 栄一	
吉野町区長連合会 副会長	竹内 一	
吉野町社会福祉協議会	上平 美知子	
吉野町観光協会 会長	福井 逸生	
奈良交通株式会社 乗合事業部次長	八伏 勝彦	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター	花井 正明	
奈良交通株式会社 吉野営業所助役	西本 忠弘	
奈良交通株式会社 乗合事業部企画員	布田 尚弘	
奈良県タクシー協会 専務理事	吾妻 孝義	
吉野町タクシー協会 上市部会長	戌亥 一男	
吉野町教育委員会 教育総務課主任	戸毛 祥博	
吉野町 副町長	小松 正	会長
岸野都市交通計画コンサルタント(株)代表取締役	岸野 啓一	
吉野町協働推進課 課長	小泉 喜弘	事務局
吉野町協働推進課 課長補佐	中島 正代	事務局
吉野町協働推進課 主査	井上 紀子	事務局

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 出席者座席表
- ・ 吉野町地域公共交通協議会委員名簿
- ・ 資料 1 「平成 23 年度スマイルバスの利用実績について」
- ・ 資料 2 「吉野町生活交通ネットワーク計画について」
- ・ 資料 3 「東吉野村バス運行について」
- ・ 資料 4 「運行計画の見直しについて」

1. 開会

2. 会長あいさつ

(会長)

おはようございます。本日は第13回の地域公共交通協議会に大変足元の悪い中、また台風が過ぎ去って、何かとご用事があるかと思いますが、この協議会にご参集くださりまして、ありがとうございます。4月に役員改選などがある関係で、新しいメンバーの委員の皆さまもお越しいただいておりますが、後ほど事務局からご紹介させていただきます。

13回という回数を重ねておりますが、3年前に交通協議会をたちあげ、実証運行を実施させていただきました。国交省から手厚い補助をいただきながら、また、委員の皆様のご意見をいただきながら、実証運行を3年間行ってきましたが、今後は本格運行ということで、事実上吉野町の経費だけで実施するところでございますが、引き続き国交省から御支援をいただき、また吉野町は過疎地でございますが、過疎債のソフト枠を使って、バスの運行経費に充ててよいということで、国から支援材料としていただいております。

常々申し上げております通り、少ない経費で最大限の効果が発揮できるように協議会でご審議いただいております。色々なご意見をいただく中で、経費削減と言ったら変になるかもしれませんが、経費を有効に使って、最大の効果をねらっていきたいと思っております。地域住民の交通手段の確保として、より利便性を高めていけるようなスマイルバスを今後も運営していきたいとおもいますので、忌憚のないご意見をたくさんいただきまして、本日の会議が有意義になりますように、お願い申し上げまして、冒頭の挨拶にかえさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員紹介 別紙参照

事務局：吉野町地域公共交通協議会設置要綱第4条、委員の任期については2年となっております。本年3月で本協議会が設置され、4年目となり、区切りの年となりますので、これからの2年間も引き続き委員をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4. 議題

(会長)

本日の議題は4点あります。終了時刻は11時30分を予定しておりますので、よろしくお願ひします。

【1】平成23年度スマイルバスの利用実績について(資料1参照)

(事務局資料1に基づき説明)

【2】吉野町生活交通ネットワーク計画について（資料2参照）

（事務局資料2に基づき説明）

（会長）

吉野町的生活交通ネットワークは、パブリックコメントを実施し、計画書を国交省にあげることで、御支援をいただけるというもの。奈良運輸支局の濱田専門官、何か補足説明がありましたらお願いします。

（専門官）

・昨年までは、別の補助を活用されていた。本年度から、本格運行ということで生活交通ネットワーク地域内フィーダー系統の補助の活用を準備されている。
・6月末までに申請し、そこからの審査になるので、若干書類の修正があるかもしれない。その修正によって、補助を受けられないということになるわけではないので、ご了承ください。

【3】東吉野村バス運行について（資料3参照）

（事務局資料3に基づき説明）

（委員）

・東吉野村では、現在3路線の運行をしている。当社の東吉野村の地域公共交通活性化協議会で、榛原駅から東吉野村役場へ運行している路線以外を休止したいと申し入れをし、検討をしてもらってきた。
・東吉野村の協議会では、調査事業として、住民アンケート調査を実施したところ、深刻な高齢化が進む中、バス停まで歩いていくことがつらいという意見が多数。
・このアンケート結果によって、大又、杉谷、新子の支線については、小型車両で、自宅近くまで乗り入れできるデマンドタクシーの導入をされるということになった。
・当社は引き続き、デマンドタクシーとの乗り継ぎをはかり、東吉野村役場と榛原駅間を運行。
・新子地区へはバス路線ではなく、デマンドタクシーの運行となるので、バス路線の休止手続きをするので、ご承認を賜りたい。

（コンサルタント）

・デマンドタクシーになるのは支線の区間だけ、新子には定期路線便が運行します。
・新子から村役場のある小川まで、10人乗りくらいの車両でダイヤを設定し運行することになります。

（会長）

東吉野村のバスに乗られた方は、新子で吉野町スマイルバスに乗り換えることになるわ

けですね。

（事務局）

- ・はい、小川新子線が吉野町に乗り入れをする区間。国栖方面から、吉野病院へ2便、吉野病院から国栖方面へ3便が接続します。
- ・新子での停留時間は1分から2分であるので、乗り継ぎするスマイルバスが同時に停留するということはありませんので、利用者の安全面や乗り違いの問題はないと思われ
ます。
- ・東吉野村から吉野病院へ通院される方もいるので、ご協議していただき、ご承認くだ
さいますようお願いいたします。

（会長）

奈良交通の路線廃止と、スマイルバスが東吉野村のバス利用者を新子で受入させていた
だくことについて、ご意見ありませんか。ご意見がないようであれば、この件について
はご承認いただけるということによろしゅうございますか。

【一同承認】

【4】運行計画の見直しについて（資料4参照）

（事務局資料4に基づき説明）

（会長）

- ・Cコースは吉野川左岸側、主要地方道五條吉野線にあたる。利用状況を確認したとこ
ろ、乗客が非常に少ないにも関わらず、バス運行しているという現状です。
- ・乗合タクシーの予約制に変更することにより、経費の削減とともに、自宅前まで送迎
するというサービス向上につながります。
- ・これまで200円だった料金を300円と値上げさせていただくことについて、協議
会のご意見がすべてになると思うが、スマイルバスの運行に関して吉野町議会からも
色々意見をもらっていて、料金に関してはワンコインの500円でも良いのではない
かという意見も出ています。
- ・デマンドタクシーについては、今後、各巡回線などへ波及していく可能性がある
と協議会としては感じています。
- ・運行計画の見直しに関してスケジュールを説明願います。

（事務局）

本日の協議会で承認 事業者の選定 10月1日のダイヤ・路線改正予定です。それ
間に合うように運輸局への申請をします。

（会長）

10月1日より、Cコースに限ってデマンドタクシーを運行したいとのことです。Cコースにおける運行が大きく変わるので、みなさんからご意見をいただけたらと思います。料金の件や、Cコース以外のこと、それぞれの専門分野からご意見を頂戴したいと思います。

(委員)

- ・今回初めて参加した。地域の重要な問題であるので、区長連合会から、副会長の2人にも参加してもらった。
- ・私は上市に住んでいて、スマイルバスを使ったことがなく、申し訳ないが事情を良く知らない。
- ・上市地区において乗車率が非常に少ない。スマイルバスの全体像が町民の皆さんにどれだけ認識されているか。駅にも病院にも近いという地域事情からかもしれないが、運行系統図や、運行の形態、ダイヤが町民のみなさんが、どれだけ認識されているか。複雑でなかなかわかりにくい。
- ・地域的な事情が一つ理由としてあるが、周知がまだ徹底していないという反省点がある。
- ・町でも色々やっていたらと認めた上で、町民がすべてスマイルバスのシステムを知っているかという問題はある。
- ・乗降客が少ないということについては、需要を満たすということではなく、需要を創出するという視点がはたしてあるのか。
- ・東吉野村との接続をするという案について、老人会の方が東吉野村の平野にある温泉に行きたいとして、はたして、スマイルバスを使うかどうかということまでスマイルバスの存在感が浸透しているかといえば、なかなか浸透していない。
- ・バスの小型化ということになれば、連れもって行こうということは難しくなる。
- ・スマイルバスを使って地域発見をしようというようなこと、たとえば国栖方面へ行くバスを使って、観光スポットという大げさな言い方でなくても、南国栖の浄見原神社までバスで行って、その後、途中下車して紙すきの様子を見学するという町おこしの視点から、町民の皆さんが地元をもっと良く知ろうじゃないかという機運を高めて行くことも重要じゃないかと思う。

(事務局)

- ・委員から色々なご提案いただき、ありがとうございます。
- ・スマイルバスの運行形態について、複雑でわかりづらいということは、今後検討していきたいと思います。複雑なのは、スクールバスの混乗を実施しているという理由もありますが、非常に効率的に運行をしている点は別途、国などから評価されている点でもあります。
- ・これからデマンドタクシーを併用していくことになるので、スマイルバスとスクールバスの在り方を考えていけないと考えています。
- ・乗降者の需要を創出することについて、町おこしの視点からのスマイルバスの活用の仕方についてご提案いただきました。ちょうど、今月6月号の広報よしのにも

掲載したのですが、住民のみなさんからのバスの利用プランのご相談にも対応させていただいております。また、色々なコースを作っていきたいと考えています。

・今、実際我々は、バス利用をしたルートの確認もしているところです。たとえば、今年、万葉記紀の記念の年ではありますが、吉野町にはそれにまつわる歌碑などもたくさんございます。それらをめぐっていただくのに、スマイルバスを活用していけないだろうか検討しています。

・今年近鉄が100周年を迎えるので、タイアップもしながらコース設定して、一日乗車券を使って、たとえば国栖の里まで、5人、10人グループでバスに乗っていただけないだろうかということも考えている。

・基本は地域住民の生活の利便性ということが最重要なので、観光客でバスがいっぱいになって、地元住民が乗れなくなっても困りますので、色々検討しながら模索していきたいと考えております。

(会長)

・委員から、バスをもっと身近なものにしないと利用客も増えないというご意見をいただいた。

・町長の指示事項でもあるが、吉野町の一番不便なところから、上市駅や吉野病院までのルートを確認するというのがスマイルバスの第一義であったが、視点を変えて、一番便利なところから、たとえば津風呂湖や吉野山、国栖の里のものづくり工房へ、バスを走らせて、住民が移動をできるということを考えていけないといけない。

・我々役場職員も、町で走っている大事なスマイルバスに乗るように、ノーマイカーデーなどを設けて、わが町のわがバスというところを職員にも意識付けしていけないと言っていたところである。

(委員)

・Cコースで、利用度の一番低い奥六田の住民なので、今までから何回も聞いていて、便数も減って来るという悪循環になっている。タクシーを利用している人もいる。

・デマンドタクシーについて、一乗車300円を基本。バスで奥六田の入り小口のところまで来てくれているので、バス停まで歩いていける足の達者な方はバスを利用しているが、それ以外の車イスなどで病院通いをする方はタクシーで行っている。その方がデマンドタクシーを利用する場合、車イスを押す方などの介助する方など3人くらいで乗車した場合、一人300円で900円必要か？

・ダイヤ表P7にあるようにその時刻に合わさなければいけないのか？その帰りのタクシーの予約時間はどうなるのか。

(コンサルタント)

・運賃の設定をきっちりする必要がありますが、現状で言うと障害者手帳を持っている方は半額の障害者割引があります。障害者割引の場合、同伴者はどうするかという規定があるが、スマイルバスではきちんと決めていないのが現状です。今回の申請で見直す必要があるかと思えます。乗合交通なので、お一人いくらという料金体系になる。

・ダイヤについては、乗り合いタクシーというみなさんでタクシーを使って、同じ車両に乗車するので、普通にタクシーに乗るより安い料金で乗っていただける。家まで送り迎えしてもらえると、100円高い300円に設定されました。バスと同じような料金で乗っていただけるので、バスと同じように決めた時間に乗っていただくというのが大前提となります。

・予約する時間というのは運行される業者とも検討しないといけないのですが、10月に動くまでには決める必要があります。他の地域の一般的な例でいうと、前日の午後5時までというものが多いです。帰りの便はまちまちで、一時間前まででも良いというところや、行きの車の中で乗務員に予約するというところ、時間の何分前までなら変更できるというところ、帰りの便の前日までというところもあります。今後の協議によると思います。

(委員)

・私は殿川在住でスマイルバスのコースでは一番端になる。高齢者が多いところで、バスが来てくれることはありがたい。

・乗り合いタクシーについては、タクシーで家まで送ってくれるのは非常に良い。現在のバスのデマンド制は前日までの予約が必要。

・道が狭いが、車いすの乗れる車が来てくれたら良いと思う。

・今はそれほど心配なくなったが、スクールバスとの混乗で、乗車人数がぎりぎりのときがあるので、乗れなかった乗客はタクシーを運行していただくなど、対応をお願いしたい。

・三茶屋～小名間もデマンド制になればよいのではないか。

(委員)

・高齢者の利用が多いということで、利便性を考えて、デマンド計画していただいているのはうれしいこと。

・スマイルバスの地域への浸透について考えると、一人暮らしが多いので、町から時刻表を配布されても、理解できず、浸透していない部分がある。

・まず利用していただけるよう、町民隔々までの浸透性が必要。

・乗合タクシーの場合、それぞれ家まで送って行ったら時間がかかると思うが問題ないか。

(コンサルタント)

・家まで送迎をしますが、最大乗車しても、乗務員以外4人しか乗れないので、4回立ち寄るだけで、大きく遅延しないと考えます。

・他の地区の例ですが、タクシーが行くと聞いた瞬間に普通のタクシーと混同してしまうのですが、乗合タクシーはみんなで乗るものなので、それぞれ順に迎えに行く際には言われたダイヤの時間にはすぐ乗車できるよう、家の前で待っておいていただきたい。

(委員)

- ・奈良交通へ質問。大和上市駅の発着で観光客が乗れるようなバスは杉の湯行きだけか。
- ・熊野の新宮や那智勝浦辺りまで行っているバスはないか。

(委員)

- ・大台ヶ原行きもある。
- ・新宮、勝浦まで行っているバスはないが、杉の湯で連絡して、上北山、下北山まで行くバスはある。

(委員)

- ・最近は何れの世代で都会生活者で車を持たない人もたくさんいるが、このような方が例えば、吉野山へ来て宮滝まで歩いた帰りには、タクシーか路線バスか、スマイルバスということになる。以前はバスの便が多かったが、今はスマイルバスも時刻表が分かりづらいということもあり、タクシーを観光客に勧めることが多い。
- ・吉野町観光協会は、10月1日の予定で、大和上市駅に観光案内所が予定で、来年の4月頃にはレンタサイクルの実施の準備も進められている。
- ・近鉄百周年とも合わせて、着地型の観光を考えると、健康のためや歴史好きの方は、月に何回も歩きに出かけるという方に対応するべく、マップを作ったりしている。また、近鉄電車で大和上市駅に着くと、自転車もバスもあると言えたら利用する方はいるはず。
- ・インターネットで吉野町のHPにアクセスすると、町内の色々なところへ行くプランや行き方などが載っていたら観光客にとって、やさしく便利な吉野町になる。スマイルバスを大いに活用できれば、安くて色々なところを便利に行ける。問題は日曜に全く運行していないということをどういう風にカバーしていくかということについて、相談にのってもらいたい。

(委員)

- ・地域公共交通は地域で考えると思っている。亀田区長会長が、地域にとって大切なことなので、副会長と一緒に参加したというのは非常に良いことである。
- ・バス、鉄道にはないタクシーの特性である機動力やドアツードアというところによって、今回、乗合タクシーについて計画していただいたことは非常に光栄なことだ。
- ・車両の乗車人数が5人以上となる便の調査について報告があったが、客としての乗車人数は4名である。旅客が5人になった便の調査をしたのか。それであれば、これからは旅客4人で進める必要がる。

(コンサルタント)

車両の旅客は4人で、5人目の旅客から2台目の車両が必要となるという認識です。

(委員)

資料3、東吉野村の事業の乗り入れ業者として私どもの相互タクシーが担うことで許可をもらった。Cコースも私どもが運行しているが、一番乗客が少なく気になっていたコース。乗合タクシーに変更するのは良いことである。

(委員)

・スクールバスについて、住民の方との混乗路線がいくつかあります。そのことにより、コミバスのダイヤを圧迫している部分があるので、子どもの数も年々減ってきますので、集約できる分は集約してコミバスに使っていただけるように考えたいと思います。

・スマイルバスを高校生に使っていただけていない現状がまだあります。中学校の三者面談のときにも案内をしていただいているが、保護者が送るという習慣がついているので、中学校の早い段階から周知していきたい。

・子ども自身も、バスが中学校に寄った後、上市駅まで行っているということが分かっていない状況です。帰りの便も7時台の夜の便があるということ子どもが分かっていないということが最近わかってきました。お年寄りにとっては分かりにくいという話もありましたが、子どもにとっても分かりにくいかもしれないので、スマイルバスについての学習といった周知活動を教育委員会として進めて行きたいと思います。

・最近では減ってはきておりますが、特に吉野中学生でマナーが悪いものがあったり、トラブル等がありましたら、すぐに教育委員会までご連絡いただけたらと思います。

(委員)

・現場サイドから確認したいことがある。東吉野村の乗り入れについて、新子で連絡することになるが、東吉野村内も小川で連絡して運行しているので、頻繁ではないが、遅延の分の時間の連絡待ち方という場合がある。連絡をどうしたらよいか。コミバスとスクールと混乗便で子どもも乗るので、その取り決めも交わせたらと思う。

(委員)

・奈良県地域公共交通改善協議会、及びその幹事会で当社の現状の説明とお願いをした。当社はこれまで中南和では行政の補助金や、当社の北部の黒字路線の収益をもって内部補助で運行を行ってきた。近年の人口減少や、京阪奈線の運行によって、南の地域に内部補助をしていた路線が厳しくなってきた。努力をしていきたいと思っている。

・特に、沿線のなかでの新たな需要を生むというのはむずかしいが、お客様を増やす努力は必要。近鉄の100周年イベントも積極的に営業活動をして、一部は協力できることもあるかと思う。

・行政による公共交通と当社の公共交通の利用促進に関して、利用の住み分けを行って、共倒れにならないように考えていただきたい。八木から杉の湯までの路線は上北山村、下北山村までの生活交通として運行しているが、改めて現状について話をし、ネットワークをどう維持していくか、相談したいと思っている。

(委員)

・デマンド系の乗合タクシー導入ということで、県下でもその傾向が強くなっている。天理市は今年4月から、桜井市、宇陀市、三郷町などでも実施しているので、よく勉強して導入したら良い。

・経費の考え方については、どれだけ乗っても一乗車300円4人乗っても1200円では、半分が支出になるので、乗って貰うだけ赤字が増える。住民サービスと行政の負

担のバランスを考えてなるべく乗合率を高めると言った手法を考えると良い。

・昨年まで3年間実証運行して、先日第三者評価委員会が行われたが、吉野町での実証運行について、委員がどのような評価をしたか、この機会に話されたい。

(事務局)

第三者評価委員会ということで、神戸大学や京都大学の先生方や国の担当の方に事後評価の報告をさせていただきました。事後評価に関しては良い評価をいただき、利用促進のための無料乗車券の配布や、一般乗客と児童・生徒の混乗については他の地域でも例のないようなことだと高くおほめをいただきました。今後の課題としてはご指摘いただいているように、どのような方にターゲットにしぼって、どういうバスの運行にするのか、目標を据えてすると良い。観光としての利用もあるので考えるようにということでした。総合的に良い評価をいただきました。協議会にご連絡遅れまして失礼しました。

(委員)

・デマンドタクシーは県内にもたくさん実施事例が出ている。全国的にもデマンドタクシーが広がっている。費用の部分で成功事例もあれば失敗事例もあるが、デマンドタクシーという名前だけで寄りかかって実施したため、費用的にも効果的にも失敗した事例もある。

・ここまでの計画を立てるにあたって、乗車密度などを分析して乗り合いタクシーの実施がベストであると判断したと思うが、走った後のフォローアップの計画も会議の場で発表したら良いものになるのではないかと思う。

・交通事業者の件について、デマンドタクシーを利用する方について、これまでバスに乗れなかった方の需要が見込めるということだったが、安い料金になるので、タクシー事業者に影響が出るが、意見はないか。

(委員)

・確かに業績について、上向くか下向くかという問題は出てくる。

・先行している業者に聞くと、乗客の中には他の乗客と一緒に乗りたくないという意見があったというような話も聞いているが、吉野町の場合は地域的に見てもそのようなこともあまりないと思うので、デマンドタクシーについては成功すると考えている。

(委員)

・乗合タクシーはセダン型のタクシー車両以外では運行できないか。今ニューヨークでも車室の広いものがタクシーとして運行している。7人乗りなど、運行事業者で、もう少し大きい車を購入して、乗合タクシー以外にもタクシー車両としても使えるので用意できないか。

・スマイルバスの一環として、デマンドタクシーを導入するので、車両にマグネットなどを張り付けて、バスのシステムの一環として走っていると住民に明らかに分かるように表示されたい。

・乗合タクシーの導入については広報誌やケーブルテレビで周知することになるだろう

が、パーソナルな周知ができる町内会や区長会の組織を利用してくれないかと思う。各区長が住民に対して説明できるように、資料を作って区長に配布し、会合などで地域住民に区長が直接説明できるような形が有効ではないか。

(会長)

・住民とスマイルバスをもっとちかづけるというお話をいただいた、まだまだ利用者の立場に立って、運行ができていないという点、PRが不足している点もご指摘いただいた。事務局の方で、コンサルタント会社からアドバイスいただきながら、よりよいバスにしていきたいと思います。

・今回、吉野町としては初めての試みであるデマンドタクシーをCコースに限り、導入することを委員のみなさんにおはかりします。よろしゅうございますか。

【一同承認】

(会長)

・デマンドタクシーの料金については、一乗車300円、往復500円ということで、10月から実施したいと思いますが、よろしゅうございますか。住民から反響もあるかと思いますが、まずは300円でスタートさせていただきたいと思います。よろしゅうございますか。

【一同承認】

(会長)

・本日の会議においても、委員のみなさんから建設的なご意見いただきました。より良いスマイルバスの運行やデマンドタクシーの導入について頑張っていきたいと思いますので、今後ご支援をよろしくお願いします。本日はありがとうございました。